

第2次木津川市地域公共交通網形成計画策定の概要について

(1) 計画策定の目的

現行の地域公共交通網形成に係る計画「木津川市地域公共交通網形成計画」（第1次計画と称す）の計画期間は、令和2年3月までとなっている。

令和2年4月以降においても第1次計画を引き継ぎ、公共交通の維持・活性化に資する事業を計画的、かつ各主体が責任を持って推進し、利便性の向上と効率的な運行を目指すために、新たな公共交通に係る総合的な計画「第2次木津川市地域公共交通網形成計画」を策定する。

(2) 計画期間

令和2年4月～令和7年3月（5年間）

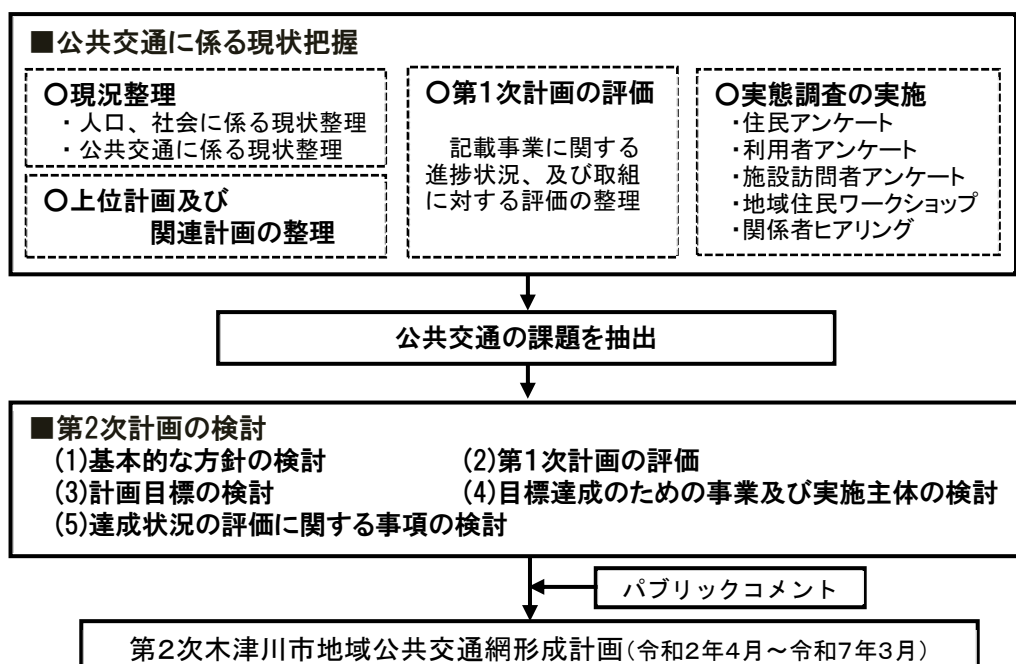
(3) 計画の主たる記載事項

1. 計画の基本的な方針
2. 第1次計画（平成27年4月～令和2年3月）の評価
3. 計画の目標
4. 目標を達成するために行う事業及び実施主体
5. 計画の達成状況の評価

(4) 計画策定の流れ

各種統計指標分析や実態調査を実施し、当市の地域公共交通に関する課題整理を行うとともに、第1次計画の検証・評価を行う。その結果を踏まえた上で、当該地域にとって最適な公共交通のあり方や事業等について検討し、新たな計画としてとりまとめる。

また、計画とりまとめに際しては、計画（中間案）の段階でパブリックコメントを実施し、市民からの意見を反映させる。



(5) 実態調査（案）について

地域公共交通に係る実態や課題把握のために、次の実態調査を実施する。

調査手法	対 象
アンケート	①住民 ②コミュニティバス利用者 ③観光施設訪問者
ワークショップ	④地域住民（高齢者団体）
ヒアリング	⑤交通事業者、関係団体

①住民アンケート

【調査の狙い】

多くの市民を調査対象として、移動環境や公共交通サービスの満足度、課題、また公共交通の利用実態や頻度の変化、公共交通に係る要望などを把握する。

【調査の概要】

（対象） 18歳以上の市内居住者

（配布件数） 約5,500人

（抽出手法） 住民基本台帳より無作為抽出

（配布回収方法） 郵送配布／郵送回収

【調査内容（案）】

別添の調査票（案）のとおり。

なお、前回（平成26年実施）の住民アンケートにおける設問の踏襲を基本とするが、次の点の見直しを行う。（主な項目のみ）

ア）前回調査票から削除

- ・「普段の外出」における、主な出発時間と曜日
- ・バス利用をやめた人の移動手段

イ）今回、新たに追加

- ・普段の生活における移動環境の満足度 [質問1⑨]
- ・交通手段毎の満足度の設問に、福祉有償運送を追加 [質問2①ク]
- ・普段、バスを利用していない理由 [質問3④ア]
- ・生活移動で困っている場合の行き先、問題の内容 [質問6]

ウ）配布件数の増加

- ・第1次計画策定時の住民アンケート配布件数は約3,200人であったが、配布件数を増加することにより、各地域の利用実態・公共交通に関するニーズをより正確に把握するため、今回の対象人数は約5,500人に見直しを行う。

②コミュニティバス利用者アンケート

【調査の狙い】

日常生活でのコミュニティバスの使われ方や、利用者目線からのサービスの評価、改善点などを把握する。

【調査の概要】

(対象) コミュニティバス利用者

(配布目標) 約500人

(配布方法) 乗車が多いバス停留所にて調査員が手渡しで配布、または車内にて乗務員が手渡しで配布し、郵送による回収を予定。

※路線別の具体的な手法は、別途、交通事業者との調整の上で決定。

【調査内容（案）】

別添の調査票（案）のとおり。

なお、前回（平成26年実施）のコミュニティバス利用者アンケートにおける設問の踏襲を基本とするが、次の見直しを行う。（主な項目のみ）

ア) 前回調査票から削除

- ・なし

イ) 今回、新たに追加

- ・同居家族構成、保有台数 [質問1⑦⑧]
- ・普段の生活における移動環境の満足度 [質問1⑨]

③観光施設訪問者アンケート

【調査の狙い】

観光地である当尾エリア（浄瑠璃寺、岩船寺）来訪者の交通手段の実態や、バス利用に関する課題などを把握する。

【調査の概要】

(対象) 浄瑠璃寺、岩船寺の来訪者 ※2箇所で調査

(実施方法) 施設周辺において、調査員が聞きとりでアンケート調査を実施。

実施は、休日1日を予定。

※具体的な手法は、別途、当該施設等との調整の上で決定。

【主な調査項目】

- ・来訪手段、路線バス・コミュニティバスを使わない理由
- ・バス運行の認知度、バス利用に向けた意見、要望 など

④地域住民ワークショップ

【調査の狙い】

高齢者等における生活移動に関する問題や要望など、アンケート調査手法からでは把握できないような具体的な意見を把握する。

【調査の概要】

(対象) 高齢者団体など。

(実施方法) 市内3箇所程度で開催を予定。

事務局がコミュニティバスの利用状況などを説明した後、高齢者の生活移動や各地域の交通環境に係る課題などについて意見交換をおこなう。

⑤交通事業者、関係団体ヒアリング調査

【調査の狙い】

交通事業者等の運行サイドが抱える課題や、関係主体と連携した利用促進に向けた施策の可能性などを把握する。

【調査の概要】

(対象) 交通事業者：路線バス事業者、コミュニティバス運行事業者

その他関係機関：商業施設、観光協会、福祉団体等

(実施方法) ヒアリングシートを事前送付後、ヒアリング調査を実施。

【主な調査項目】

○交通事業者：利用者の動向、運行サイドにおけるサービス持続に向けた課題 など

○その他関係機関：公共交通サービスとの関わり（例えば、公共交通利用での来訪者数）、利用促進での連携の可能性 など

第2次木津川市地域公共交通網形成計画 策定スケジュール(案)

